



【添付資料／コンテンツのご紹介】

●いつのまにか LOHAS になる生活習慣

第一回：味の決めては箸にあり

“森林破壊の根源”なんて、なにやら物騒な言われ方をしている割り箸。けれども、実は、千利休が説いた一期一会の精神の現れ、という側面もあります。一方、近ごろでは、たとえコンビニのお弁当でも、より美味しく食べたいという理由で「マイ箸」を携帯する人も増えてきました……。

第二回：1／7 日の気持ちよさ

「汗くさい」を筆頭に、巷では嫌われものの汗ですが、身体にはとっても重要な機能を担っています。ところが、ベタベタや匂いを嫌うあまり、夏になると家庭でも会社でも過剰なくらい冷房を効かせてしまう人が少なくありません。その結果、身体が冷房環境に順応し、汗をかかない、また汗をかけないようにしてしまった人が増えてきているようです。体が本来の機能を発揮することは、実は気持ちのいいことなのです。

第三回：まだ持っていないの!? エコバッグ

先日、スーパーでレジに並んでいると、前の OL さんが「袋、結構です」と言って、買った品々をハンドバッグから取り出した“エコバッグ”に詰め始めました。それを肩にかけると周囲の人々が両手に“レジ袋”を提げトボトボ歩く中を、さっそうと帰って行きました。ん～、かっこいい。さっそく、昨今のエコバッグ事情を取材してみました。

●連載エッセイ

「まるい地球を駆け抜けろ」——つなぶち ようじ

第一回：バリ島のお葬式はなぜ明るい

著者プロフィール

ライター。文章ワークショップ「ヒーリング・ライティング」主宰。NPO法人「ピース・キッズ・サッカー」理事。著書『胎内記憶』『あなた自身のストーリーを書く』など。かつて勤務していた会社の勤続 20 周年記念同期会に出席。懐かしい同期たちに会う。

「おとなの能書」——イッコー・オオタケ

第一回：飲酒

第二回：スピリチュアルな？メッセージ

第三回：コピータウンの増殖

著者プロフィール



1960年東京の下町に生まれる。10年に渡り広告プランナーとして会社勤務の後、母親の実家である浅草仲見世の老舗小間物店の七代目店主となり屋号を継ぐ。目指すところは“由緒ある下町の小言ジジィ”。

「芝浦日乗」——津久井耀平
第一回：真夏の夜の夢

著者プロフィール
フリーランスの雑誌編集者。リーズナブルなモノ、コンビニエントなモノがハバをきかせ「真っ当なモノ」が見えにくく、手に入りにくい現代に、ひと言もふた言もいいたいと lohas.co.jp に参画。

●ブログ

「ごろべえ日記」——ごろべえ
あるいは節約遺伝子との戦いの記録

「LOHAS ニュース」——RUMI
国内・海外の LOHAS ニュースやイベント情報をピックアップ

●オンラインショップ

「LOHAS Collaboration」
・焙煎職人、高田啓治が叶えた
間菜舎焙煎 19 等級ニュークロップ使用「Premium」(コーヒー豆)

「LOHAS Select Shop」
・バリ発 Craft Pino「BOTAN」(アートキャンドル)